

【事例 H27-06-07】 山梨県

青木ヶ原ふれあい声かけ事業

山梨県のハイリスク地では、行政が雇用した声かけ監視員が昼間に毎日、専用車両により巡回し、自殺念慮が疑われる人に声かけを行い、警察と連携して自殺念慮者を保護する事業を実施している。なお、夕方～夜に警察官が、深夜にはNPOスタッフがパトロールを実施している。また、ハイリスク地の関係者（バス・タクシー運転手・売店員等）が、自殺念慮者に気づき、声かけ監視員や警察官につなぐことができるように、ゲートキーパー研修を実施している。また、要所には監視カメラを設置し、自殺念慮者の把握と保護に活用している。

【実施主体】 山梨県**【大綱の分類】 6. 社会的な取組で自殺を防ぐ①****【事業予算】 18,085 千円（平成 29 年度）****【利 点】**

自殺企図者の水際での確保を行うことにより、青木ヶ原樹海を訪れる県外者の自殺の減少につながる。

【実施に至るまで】**【背景・必要性・理由の概要・等】**

山梨県における自殺死亡率は、人口動態統計（住所地ベース）で平成 16 年以降平成 26 年まで全国平均を上回るとともに、自殺統計（発見地ベース）では 19 年以降 8 年連続全国ワースト 1 位となっており、自殺対策は本県の喫緊の課題である。本県での自殺者を減少させるためには、県民に対する自殺対策とともに、県外からの自殺者を減少させる対策が必要であり、特に、県外からの自殺者が多い青木ヶ原樹海が自殺ハイリスク地域となっているため、対策が重要である。

【計画を立てる上での工夫・等】

バス会社の協力により、活動を熟知する専任の運転手をその路線に配置するなどし、乗客の中に自殺企図が疑われる者がいた場合には、声かけ監視員に連絡するなど、あうんの呼吸で適切な対応が図られた。

【具体的な内容・実施の過程】

道の駅なるさわ、県道 71 号線沿いの見晴台、鳴沢氷穴、富岳風穴、竜宮洞穴、西湖コウモリ穴、西湖いやしの里根場、西湖野鳥の森公園を巡回するルートにおいて、青木ヶ原樹海を訪れる者を注意しながら見て、自殺企図の疑いがある者を発見した場合には、声かけを行う。声かけを行った結果、自殺企図者だと思われる場合には、一時的に保護するとともに、必要に応じて富士吉田警察署に通報し引き渡す。県の補助事業として、富士河口湖町及び鳴沢村が主体となって実施し、両自治体がそれぞれ監視員 3 名を雇用するとともに、自動車 1 台を賃借し、毎日 8 時間、2 名 1 組の 2 チームで青木ヶ原樹海の周辺地域を巡回する。

【成 果】

青木ヶ原ふれあい声かけ事業の平成 28 年度の実績は以下のとおりであった。

声かけ:128名、保護:59名、通報（不審な様子であったが声をかけられない場合の警察への通報を含む）:84名

県内の自殺者は減少しており、一定の効果は出ている（平成 21 年：363 名→24 年：280 名→26 年：257 名→28 年：192 名 発見地ベース）。

【補 足】 情報なし

【課 題】

青木ヶ原ふれあい声かけ事業の活動内容がマスコミに取り上げられることが、かえって「自殺の名所」として PR することにつながる懸念がある。そのため、今後の課題としては、青木ヶ原樹海のイメージアップを図る活動や広報活動を併せて行うことが必要である。

【事業種別】 強化モデル事業

【準備期間・人数】 不明

【予防段階】 1 次予防

【自治体規模】 人口 823 千人（H29 年度） 財政規模 264,905,911 千円（H27 年度）

【自治体負担率】 0%

【事業対象】 県民と県外からの自殺企図者

【支援対象】 県民と県外からの自殺企図者

【実施主体・問合せ先】 山梨県 福祉保健部障害福祉課 心の健康担当

TEL 055-223-1495

E-mail: shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

【参考資料・文献】 山梨県障害福祉課：<http://www.pref.yamanashi.jp/shogai-fks/index.html>